

私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です

みやぎ民医連

発行所 宮城県民主医療機関連合会
 仙台市青葉区木町通1-8-18
 〒980-0801 田村ビル5F
 TEL 022-265-2601
 FAX 022-263-8266
 e-mail: dai@miyagi-min.com
 発行人 坂田 匠
 1日・15日 月2回発行 1部 50円

憲法9条を守り活かす
 みやぎのつどい2021春
松元ヒロオンステージ
公演「憲法くん」
 日時▶3月28日(日)
 12:30(開場) 13:30(開演)
 会場▶仙台サンプラザ大ホール **入場無料**
 主催/みやぎ憲法九条の会 連絡先/022-728-8812
 協賛/宮城県内九条の会連絡会

東日本大震災から10年

心が和む日常に感謝

松島医療生協 訪問看護ステーションまつしま所長
岩淵 純子



岩淵純子さん

10年という月日の流れを感じるときは、復興した街並みや復興半ばの被災地の映像を目にした時。でも、一番実感する時が震災で亡くなった方々の遺影(の写真)を見た時です。

当たり前ですが、10年前と全く変わりのない写真のお顔に自分の顔として

きた容姿を照らし合わせると不思議な感覚に襲われます。つくづく「10年たったんだな」とただただ時の流れを感じます。



敷地内にある誓の碑

10年前、「明日は何が起るかかわからない。大事な人との突然の別れがあるかもしれない」と一日一日を大事に生きていこうと強く思い、「今日できる事は今日しよう。会いたい人や

話したい人には思った時に連絡しよう。」と頑張ったものです。現在その思いの温度感にはいささか差はあるものの、各地で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。



グループワーク中(泉病院)

講義後、各事業所でグループワークを行いました。泉病院では各部署に分かれ、自部署の目標設定

の、各部署で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

「好きなことをみつけれたら素敵なことよ。」息子が保育園に通っていた頃、保育園の先生からかけられた言葉である。▼当時は、工作や絵を書くことに夢中になっていたが、成長と共に好きなものも、夢中になるものも変わっていった。▼小学生だった息子が「野球がしたい」と言った時は、衝撃的だった。自分は、野球のルールもわからない、送迎が大変、不安ばかり先立っていた。息子は1カ月の間、毎日「野球がしたい」と言い続けた。そんな姿を見ていたうちに、「好きなことをみつけれたらいいな。」と考えるようになった。保育園の先生がしてくれた言葉の意味を理解した気がした。▼息子は、今も野球を続けている。時には、大変なこともあるが、親として野球と向き合う姿、成長する姿を目の前で見られていくことは幸せなことだ。そして、今年には東日本大震災から10年、明日を生きたくない命があったと思うと、こうして何気ない日常を取り戻し、野球を当たり前のように行うことに感謝している。▼息子の野球の追っかけ生活が終わったら、今度は自分の「好きなこと」を見つけて新しいことに挑戦できる体力は維持していきたいと思うこの頃。

第9回 県連学術運動交流集会

震災から10年
 コロナ禍のなか

力をあわせ未来を描こう

実行委員長 千葉 茂樹



千葉茂樹医師

よろしく願いいたします。

今回の学術交流は、2つの大きなテーマ「東日本大震災から10年」、「コロナ禍からの未来」を掲げさせていただきました。2021年は、東日本大震災から10年となる節目の年ですが、宮城県の中でも震災被害の大小に応じて、すでに震災は過去のことで思っている方も少なくないと思います。ただし、現在も災害公営住宅で暮らす被災者、もしくは被災した自宅での暮らしを余儀なくされた在宅被災者など多くおり、昨年来のコロナ禍によって参加・活動を制限され、健康状態悪化のほか社会的にさらに孤立を深めております。昨年の県連の調査でも、孤独死を耳にする件数は年々増

加していることが明らかになりました。県の復興計画も10カ年計画の最終段階を迎えようとしておりますが(2月13日のM7.3の余震でも思い返されました)、私たち宮城民医連も継続した支援活動が必要だと考えております。

コロナ禍によって、私たちの医療、介護、福祉活動も、そのあり方を大きく制限・変更せざるを得ない状況になりました。社会情勢はかなり厳しく、収入減により受診抑制が生じたり、学業を諦めざるを得なかったり、命を絶つ方まで増えている状態です。一方で、富裕層は資産を3兆9000億ドル増やしたと国際NGOオックスファム年次報告書では発表されており、2〜5億人増加

したとされる貧困層から考えても、経済格差はさらに大きくなっていると思います。社会的に弱い立場の人々が安心して生活できる社会を築いていかなければなりません。以上のような情勢も踏まえ、今回のテーマは震災から10年 いま コロナ禍から未来へ」とさせていただきます。

看護管理者研修

SWOT分析、BSCを活用し病棟目標を設定

泉病院
 東病棟師長
 今野美枝子

2月6日、今年度の看護管理者研修を開催しました。今回は看護管理者研修第4講座ということになり、各事業所から69名が参加しました。この研修は数年ぶりの開催で、看護管理者になって初めて受ける方も多かったようです。

今年度の看護管理者研修はコロナの影響で全参加者が1カ所に集まっていたが、各事業所をZOOMでつな

坂総合病院
 6階病棟師長
 渡邊一也

坂総合病院では山路副看護部長のSWOT分析の講義の後、SWOT分析をもとにクロスSWOT、BSCについてグループワークを行いました。アドバイザーはセカンドレベル受講済みの師長さんです。研修終盤には各グループともBSC作成までできたので研修の目的は達成できたと考えます。終了後のアンケートでは概ね肯定的評価が多かった一方、ZOOMの操作の不具合の指摘がありました。

講義後、各事業所でグループワークを行いました。泉病院では各部署に分かれ、自部署の目標設定

の、各部署で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

話したい人には思った時に連絡しよう。」と頑張ったものです。現在その思いの温度感にはいささか差はあるものの、各地で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

話したい人には思った時に連絡しよう。」と頑張ったものです。現在その思いの温度感にはいささか差はあるものの、各地で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

話したい人には思った時に連絡しよう。」と頑張ったものです。現在その思いの温度感にはいささか差はあるものの、各地で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

話したい人には思った時に連絡しよう。」と頑張ったものです。現在その思いの温度感にはいささか差はあるものの、各地で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

話したい人には思った時に連絡しよう。」と頑張ったものです。現在その思いの温度感にはいささか差はあるものの、各地で起こる自然災害を目の当たりにして繰り返し思ひ出されます。今、こうして思うのは、常日頃からの防災意識を強くもち行動に移すこと。その上で日々色々なことはあるけれど、青い空に心がすくわれ、暖かいコーヒーに心が和むごく普通の日常に、そして時を刻んでいけることに心から感謝する日々です。ごく普通の日常を大切に生きていきたいと思います。

健康手帳

「好きなことをみつけれたら素敵なことよ。」息子が保育園に通っていた頃、保育園の先生からかけられた言葉である。▼当時は、工作や絵を書くことに夢中になっていたが、成長と共に好きなものも、夢中になるものも変わっていった。▼小学生だった息子が「野球がしたい」と言った時は、衝撃的だった。自分は、野球のルールもわからない、送迎が大変、不安ばかり先立っていた。息子は1カ月の間、毎日「野球がしたい」と言い続けた。そんな姿を見ていたうちに、「好きなことをみつけれたらいいな。」と考えるようになった。保育園の先生がしてくれた言葉の意味を理解した気がした。▼息子は、今も野球を続けている。時には、大変なこともあるが、親として野球と向き合う姿、成長する姿を目の前で見られていくことは幸せなことだ。そして、今年には東日本大震災から10年、明日を生きたくない命があったと思うと、こうして何気ない日常を取り戻し、野球を当たり前のように行うことに感謝している。▼息子の野球の追っかけ生活が終わったら、今度は自分の「好きなこと」を見つけて新しいことに挑戦できる体力は維持していきたいと思うこの頃。

国民健康保険の運用改善を申し入れ

坂総合病院 社会福祉士 高橋 佑可子

1月28日、宮城県自治会館にて、宮城県社会保険推進協議会(以下県社保協)「自治体キャラバン2020」が、4団体



県の担当者と懇談するキャラバン参加者

9名が参加し実施されました。県社保協から県へ要請した項目は、新型コロナウイルス感染症・地域医療に関する要請の5つです。そのうち国民健康保険に関する要請についてさらに具体的な8項目が提示され、県の国保医療課より回答が得られました。

8項目のうち特に懇談の中心となった項目が2つありました。1つは資格証明書及び短期被保険者証の発行は止め、国民健康保険料を継続して分納している世帯には正規の保険証を交付するよう求めるものです。この要請に対する回答は、県は昨年の4月より資格証明書及び短期被保険者証の発行に係る指針を作成し、その中で短期被保険

掲載といった方法で周知を図っているという内容でした。坂総合病院の社会福祉士より、自治体へ第44条について問い合わせたところ、手続きの手順や要件の回答が曖昧で確認を求めた事例も報告しました。県にはこの状況を受け止め、まずは市町村がきちんと把握し正しく活用できるよう体制を整えること、そしてより広く周知するための方法を検討することを求めました。また、無料低額診療の統計から、国民健康保険の加入者の雇用形態や経済面などの厳しい実態を伝えました。

今回初めて自治体キャラバンに参加し、日々業務で地域住民と関わっている我々が、思いを代弁し実態を伝えることの必要性を強く感じました。私は病院で社会福祉士として働いていますが、経済的な理由により必要な

差別や偏見と言った問題もまだまだ多くあり、多様性を受け入れられる社会には程遠いと感じます。更に今は、新型コロナウイルス感染症に関わる生活苦や差別も出てきています。二重三重にも厳しい環境に、社会的弱者は置かれています。

長町病院
地域連携・医療相談室
ソーシャルワーカー
下鳥 真実

今回の依頼を頂いてから憲法について考えてみると、真っ先に出てきたのが、国民一人一人が「自分らしい生活」を送ることができているのか?と言うことです。

現実を見ると、生活保護費削減、医療介護の負担増、年金減額、など社会保障制度の問題。非正規雇用の増加を始めとする雇用問題、など。個々人に負担が多く押し掛かり、生きることで精一杯となり、望む生活は遠のくばかりです。その他にも、

このような現状を考えながら改めて憲法を見返すと、13条「すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。」とあり、一番心に留まり

ました。まさに「自分らしい生活」を送りましょう!と謳っています。どのような価値観であって尊重される。また、国は誰しもが幸福に生きることができるような社会づくりを、と国が果たすべき役割にも通ずると思います。私たちの生活の基盤であり、人権の尊重そのものの条文に思えます。その為、私はこの条文を大切にしていきたいです。

日々の業務で様々な方と出会います。十人十色それぞれの生き方があり、いろいろな考え方を持っています。私たちソーシャルワーカーは、そ



多職種と連携して解決した 困難事例を共有

つばさ薬局玉川店 渡辺 明子

治療が受けられない、あるいは治療を中断せざるを得ないといった相談を受けることは珍しくありません。現在は新型コロナウイルスの影響により、特に国民健康保険の

加入者は失業、大幅な収入減少などの状態に陥りやすくなっています。このような現状に県が危機感を持ち、今後改善に向けた取り組みがされることを期待します。

の影響から初のZOOMでの開催となりました。

みやぎ保健企画の薬局は11店舗あり、普段はそれぞれの店舗で患者さんの困難に寄り添う活動をしています。他の店舗でどのような活動が行われているのか見えにくくなっており、この報告会は保健企画内で情報を共有するための貴重な場となっています。

2月17日みやぎ保健企画では1職場1事例報告会を開催しました。

毎年、法人の社保委員会が主体となって開催しています。今年はコロナ

困難解決に向けて奮闘している事例や、以前報告があった事例のその後の経過報告など様々です。その中でコロナ禍を起因とした困窮事例は、コロナの影響が強かった2020年度を反映する報告となりました。

センターや保健所など多岐に渡り、報告を聞いた参加者から「そんなところにも相談できるのか」と驚きの声もありました。薬局の中だけで解決することが難しい事例が多く、連携の重要性はますます増しています。1年に1回ではありますが、連携の実例を学ぶことができるこの報告会に今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。

今回はZOOMでの開催となったため、法人内や例年参加いただいていたSWの方たちだけでなく幅広く参加の呼びかけを行った結果、県連や事業協などからの参加もあり、40人が参加しました。

報告会で発表された内容は、解決できた困難事例だけではなく、今現在

今年8店舗から報告がありましたが、どの報告も全て多職種と連携して解決方法を探ったもので、患者さんの困難に直面した時、自分が動いて連携できる相手を探し、支援に繋がっていました。困難解決に向けて連携する先も、相談室や近隣のSW、包括支援

各職場からの報告



【問題】上の絵と下の絵では7つのマチガイがあります!どこでしょう? (作・野上和彦)



クイズの解答は事業所名、氏名、職種を記し県連事務局に送ってください。メールは不可。ファックスは可。正解者に抽選で5人に図書カードを進呈いたします。余白に日頃考えている事などを書き添えて下さい。「声」の欄に掲載させていた場合があります。応募資格：臨時・パート含む県連職員。締切4月14日。当日消印有効。発表5月1日号。2月1日号答え①左から2番目の人の口 ②中央・奥の柱の幅 ③包丁の大きさ ④漬け物たるの高さ ⑤干した大根の数 ⑥右から1番目の人のカチューシャがヘアバンドに ⑦右端の犬の鼻。応募総数18件。

当選者：菊地宏志／坂総合病院、小山亜希子／古川生病院、吉野由美子／ケアステーションながまら、渡辺由美子／田子のまら、瀬戸友紀乃／県連事務局(敬称省略)